

シンポジウム

『あなたの家は大丈夫ですか?』

一戸建住宅の火災時避難安全について考える

主催：日本建築学会 防火委員会 住宅の火災安全小委員会

日時：2020年9月25日（金）14:00～17:00^{※1}

会場：オンライン^{※2}（Zoom：アクセス方法は直前にメールにてご連絡いたします）

住宅用火災警報器の義務化や、安全機能付きコンロの普及など住宅火災の低減に対し一定の効果がある施策が打たれてきたものの、今もなお建物火災の人的被害の大半を戸建住宅火災が占めている。建築基準法は最低限の基準を定めているに過ぎず、戸建住宅は極めてプライベートな小規模建築物であるため、市街地火災を防止する規定を除いては居住者の安全に関する規定にはほとんど触れられていない。即ち法令順守だけでは居住者の安全が十分担保された設計がなされるとは限らない。一方で近年、木造建築の火災実験等が数多く実施され工学的知見や実験動画などの材料が蓄積してきている。

小委員会では設計者に戸建住宅の火災時避難安全の重要性を知ってもらい、設計配慮のポイントをまとめる活動を行ってきた。本シンポジウムでは活動内容を紹介し、今後の活動の方向性や有効な情報発信方法などについて幅広く意見を伺い討議する場としたいと考えている。

^{※1}：本シンポジウムは、3月5日（木）、延期後の6月12日（金）から再度延期したものです。

^{※2}：新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインのみの開催に切り替えました。

<プログラム（予定）>

司会：上川大輔（森林研究・整備機構 森林総合研究所）

副司会：糸毛治（北海道立総合研究機構北方建築総合研究所）

- 趣旨説明 泉 潤一（三井ホーム）
- 主題解説
①木造戸建住宅の火災性状（実大火災実験動画より） 杉田敏之（ミサワホーム）
②消防統計にみる近年の住宅火災実態 鈴木恵子（消防庁消防研究センター）
③戸建住宅に関する建築基準法防火規定の概要 鈴木淳一（国交省国土技術政策総合研究所）
④社会情勢、法改正、ライフスタイル等の変化と近年の戸建住宅設計の傾向 関真理子（住友林業）
⑤避難安全性の配慮が望まれる戸建住宅設計事例 泉 潤一（三井ホーム）
⑥避難安全設計と暮らし方のポイント 安井昇（桜設計集団）
- 質疑応答・意見交換
- まとめ 長谷見雄二（早稲田大学）

記録：佐藤章（日本住宅・木材技術センター）

参加費：会員 2,000 円，会員外 3,700 円，学生（会員） 1,000 円，学生（会員外） 1,700 円（資料代・送料含む）

定員：60名（申込み先着順）

申込方法：本会 Web サイト「催し物・公募」一覧よりお申し込みください。テキストはあらかじめ郵送いたします。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=636831> 【申込締切 9/16（水）】

問合せ：日本建築学会事務局 事業G 中村亮輔 TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura@aij.or.jp